

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	的場池球場等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡西区的場町1番2号	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	株式会社スピナ		
	所在地	八幡東区平野二丁目11番1号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

課及び保健福祉局様、八幡西区役所、JCBなどと綿密な協議を重ねて、円滑な会場運営の実現に貢献した。

○足腰シャキーン体操・ケアビクス教室・骨盤ストレッチ教室・シニア健康教室・太極柔力球教室・自彊術教室・太極拳教室・介護予防教室等の既存の自主事業をさらに充実させるとともに、利用者から要望を踏まえ、新規にリラックスヨガ・ビューティヨガを開講するなど、利用促進に積極的に取り組んでいる。

○的場池球場・桃園球場・大谷球場・ひびきコスモスグラウンドの4施設間で利用調整を行い、施設利用の効率化や利便性の向上に繋げている。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたと言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設利用について】

満足度	R1年度	R2年度	R3年度
目標値	96.0%以上	96.0%以上	96.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	97.7% (28.6%・69.1%)	97.1% (42.0%・55.1%)	98.4% (42.9%・55.5%)

【職員対応について】

満足度	R1年度	R2年度	R3年度
目標値	97.0%以上	97.0%以上	96.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	98.1% (35.1%・63.0%)	98.3% (45.6%・52.7%)	98.7% (43.7%・55.0%)

※ ・・・評価対象年度

○施設利用、職員対応共に利用者満足度の目標値を上回り、高い評価を得ている。

○駐車場・玄関・花壇・植え込みなどの清掃・剪定も定期的に行い、より安全に気持ち良く使って頂ける施設作りに取り組んでいる。

○苦情や要望などに迅速に対応し、検討の結果すぐには実現できないことに関しても申し入れた利用者丁寧に理由を説明し、納得してもらうよう取り組んでいる。

○水泳大会等に伴う水位変更、合宿等受け入れにおいて適切に対応し、大会主催者等から高い評価を得ている。

○他施設での苦情であっても全スタッフがその情報を共有し、より安全で利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。

○ホームページをこまめに更新し、より正確な利用スケジュールや教室案内を提供して

いる。また工事などにより利用不可な期間や変更点などをリアルタイムに情報提供することで、利用しやすい施設づくりに取り組んでいる。

○常に職員が施設のチェックを行い、壁やベンチの塗装など、簡易な修繕等は職員自身が即時実施することで、施設の安全や美観の維持に努めている。

○消毒液・体温計・二酸化炭素濃度測定器の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。

② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
委託料	2,561,025	2,600,604	3,991,554	1,390,950
修繕費	4,654,287	5,420,856	3,601,625	▲1,819,231
光熱水費	4,959,402	4,509,280	4,577,911	68,631
人件費	25,078,733	25,080,626	25,307,054	226,428
その他経費	1,034,241	1,176,300	882,234	▲294,066
合計	38,287,688	38,787,666	38,360,378	▲427,288
予算	38,842,429	38,883,000	40,661,000	

※ . . . 評価対象年度

○スピナの特徴である「多角経営」を活かし、日常的な清掃、防火設備の緊急修繕、その他多くの小修繕を自社社員が行うことで、安価で迅速な対応を可能とし、また、施設や用具の理解を深めることにもつながっている。

○職員による定期的な施設内外巡回パトロールを通じて設備・備品類の不具合箇所の早期発見・補修に取り組み、無駄の無い効率的な施設運営に努めている。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
的場池体育館	6,351,157	5,657,470	4,103,250	▲1,554,220
的場池球場	1,528,068	1,683,724	1,771,901	88,177
的場池弓道場	639,861	687,600	612,310	▲75,290
①実収入計	8,519,086	8,028,794	6,487,461	▲1,541,333

区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
②減免額	10,272,393	7,165,805	9,028,315	1,862,510
③合計(①+②)	18,791,479	15,194,599	15,515,776	321,177

※ . . . 評価対象年度

○前年を下回る収入となったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により施設を休館したことが主な理由となっており、指定管理者の責任によるものではない。

なお、体育館については、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種会場として利用されこともあり、減少幅が大きくなっている。

○球場の空き状況を桃園・大谷・的場池・ひびきコスモスの4球場で把握し、ある施設で空きが無い場合に他の施設を紹介し利用してもらう等、効率的な施設利用を行っている。

○足腰シャキーン体操・ケアビクス教室・骨盤ストレッチ教室・シニア健康教室・太極柔力球教室・自彊術教室・太極拳教室・介護予防教室等の既存の自主事業をさらに充実させるとともに、利用者から要望を踏まえ、新規にリラックスヨガ・ビューティヨガを開講するなど、利用促進に積極的に取り組んでいる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

○スピナの特徴である「多角経営」を活かし、日常的な清掃、防火設備の緊急修繕、その他多くの小修繕を自社社員が行うことで、安価で迅速な対応を可能とし、また、施設や用具の理解を深めることにもつながっている。

○各スポーツ施設に管理運営経験者を配分し、専門的な知識・技術の共有を図り、職員全体の資質の向上に取り組んでいる。

○外部講師を招き、球場グラウンド整備の実技指導や講習会を行うことで、グラウンドキーパーの技術向上図っている。

また、桃園・大谷・的場池・ひびきコスモス4施設のグラウンドキーパーが連携しながら効率的な整備作業を行うとともに、質の向上にも努めている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されたか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- スピナグループ企業の教育プログラムやマニュアルを活用し、桃園体育施設においてもそれらの教育を全スタッフに徹底し、適正かつ厳正な運営を行っている。
- 施設の公共性・公平性を担保していく為に「条例に基づいた運営」を行い、施設利用団体や個人利用者に対してきめ細かな説明を行っている。
- スピナ本社管理スタッフで行う「職場安全パトロール」、本部スタッフによる定期的パトロールの実施、他施設での事故報告会や勉強会等の開催を通して、事故未然防止に向けた取組みを推進している。
- 職員による朝夕2回の施設内外巡回により「器具備品・設備」等の不具合箇所の早期発見に努め事故防止未然防止に努めている。

【総合評価】

[所見]

- ・消毒液・体温計の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。
- ・多様な教室を開催することで利用を促進し、また、設備や備品の点検、各種安全パトロールを行うことで、安全な施設づくりに努めた。
- ・球場グラウンド整備の技術向上を図るため、外部の講師を招き、講習会、スピナが管理した他の施設(桃園球場・大谷球場)のグラウンドキーパー同士の相互協力体制を強化する等して、施設を良好な状態に維持した。

[今後の対応]

- ・今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。